

総務省地域情報化アドバイザー優良事業事例

優良事業事例団体

団体名: 習志野市

- 人口 : 175,183人(令和4年2月1日)
- 面積 : 20.97平方キロメートル
- 主な産業 : サービス業、小売業
- 地域情報化アドバイザー名 : 武城 文明 氏
- 派遣対応年度 : 令和元年度
- 派遣回数 : 3回
- 支援形態 : 個別アドバイス
- 支援分野 : 自治体システム



ラムサール条約登録湿地 谷津干潟
(都市化された中に奇跡的に残った!)

優良事業概要



■事業名: 次期住民情報システム更新事業

■事業の概要: 習志野市の住民情報システムについては、長きにわたり同じ事業者と契約してきましたが、令和3年10月の更新時にあつては、将来を見据えクラウド化をしていくこととし、プロポーザルによる事業者選定を実施することとしました。しかしながら、プロポーザルの事務手続きの経験に乏しかったことから、進め方を思い悩んでいたところ、地域情報化アドバイザーの活用が発案されました。結果、アドバイザーから大変有意義なご支援をいただき、更新することができました。

スケジュール

- 令和元年8月 選定方式の決定
- 令和元年9月 事業者へ情報提供依頼
- 令和元年12月 事業者のデモンストレーション
- 令和元年12月～令和2年1月 アドバイザーの支援
- 令和2年4月 募集要項公表
- 令和2年7月 事業者選定
- 令和3年10月 新システム稼働開始

次期システムのポイント

- クラウド化
- システムの集約化
- 経費の削減
- SLAの締結
- 運用期間(令和3年10月～5か年)

■アドバイザーへの依頼内容: プロポーザル実施のための仕様書の作成支援、要件定義の作成支援、上限額設定の支援等を依頼しました。

地域情報化アドバイザーから受けた支援内容



■支援日: 令和元年12月23日、令和2年1月8日、令和2年1月17日(対面での打合せ)

■支援を受けた内容: 次の点についてご教授いただきました。

- ・仕様書に記載すべき事項(記載を忘れて困ったこと)
 - ・要件定義に記載すべき事項(記載を忘れて困ったこと)
 - ・選定基準の評価内容、点数配分
 - ・プレゼンテーションの実施方法
 - ・価格の算出方法
 - ・SLAで留意すべきこと
- これらを踏まえて、本市の条件に見合う仕様書、要件定義を作成するとともに、価格設定をすることができました。



市庁舎での打合せの様子

支援を受けた事業の最新状況



■令和3年10月に新システムが稼働しました。下記のシステムを利用しています。

利用パッケージシステム(業務名、担当課、○は標準化対象)

1	住民票等	市民課	○	16	固定資産税	資産税課	○
2	印鑑	市民課	○	17	総合滞納	債権管理課	
3	戸籍	市民課	○	18	選挙人登録(選挙人名簿)	選挙管理委員会事務局	○
4	戸籍附票	市民課	○	19	期日前選挙	選挙管理委員会事務局	
5	宛名管理	市民課		20	当日選挙	選挙管理委員会事務局	
6	マイナンバーカード交付	市民課		21	当日開票	選挙管理委員会事務局	
7	コンビニ交付	市民課		22	児童手当	子育て支援課	○
8	国民年金	国保年金課	○	23	児童扶養手当	子育て支援課	○
9	国民健康保険(資格・賦課)	国保年金課	○	24	子どもの医療費助成	子育て支援課	
10	後期高齢者医療	国保年金課	○	25	子どもの医療費償還払い	子育て支援課	
11	軽自動車税	税制課	○	26	ひとり親医療費	子育て支援課	
12	国民健康保険料	税制課		27	障害者福祉・重度障害者医療	障がい福祉課	○
13	収納	税制課		28	健康管理	健康支援課	○
14	個人住民税	市民税課	○	29	教育(学齢簿・就学援助)	学校教育課	○
15	法人住民税	市民税課	○	30	学校給食費	学校教育課	

令和7年度までに対応が必要な自治体情報システムの標準化に向けて、事業者と移行方法及びスケジュール等を協議しています。

また、市民サービスの向上及び事務の効率化を目指して、事業者と意見交換をしながら、新たなシステムの導入を検討しています。

地域情報化アドバイザー制度を知るきっかけ



■総務省情報流通行政局からお送りいただいている「地域情報化アドバイザー制度のパンフレット」等で制度は知っていましたが、習志野市ではこれまで活用したことがありませんでした。このたびの住民情報システムの更新にあたっては、市民や議会への説明責任を果たしていくためには外部からの目線による支援やチェックを入れていくことが必要との考えから、活用に至りました。

一般財団法人全国地域情報化推進協会にご推薦をお願いしたところ、民間企業出身で行政でのアドバイザー経験が豊富であり、官と民の両面からの視点をお持ちの武城文明氏をご紹介いただきました。

地域情報化アドバイザー制度に関する評価・感想



■評価・感想 : 正式な派遣の前に武城氏と事前打合せをしました。すっかり意気投合し、その後はスムーズに支援を受けることができました。武城氏の話はいつも新鮮で、本市職員にとっては新たな発見ばかりで、楽しく進められました。

また、住民情報システムだけでなくデジタルの動きについて多種多様なお話を聞いたことは、とても勉強になり、視野・世界が広がりました。これこそアドバイザー制度の魅力だと思います。

このことをきっかけに、その後も武城氏には相談させていただいており、人と人とのつながりで仕事ができる喜びを実感しています。